

## 神楽小学校の夏まつり

かじかの郷への入居は8月4日（月）に予定していましたが、2日（土）に夏まつりがあるとのことで急遽2日に入居し、夏まつりに参加することとしました。

入居後、理事長さん、管理人さんのガイダンスを受け、入居時の要領、注意事項などについて具体的な説明を受けました。夕方までの間に管理人さんの好意で収穫されたばかりの大きなジャガイモ、タマネギとカボチャを頂き、早速その晩に試食させていただきましたが、とても美味しく自然が一杯詰まっているような感触を味わうことができました。



更にお向かいのお爺ちゃんがお孫さんを連れて、お願いしていた稲土米を届けてくれてこれもその晩に頂きその美味しさに感激しました。初日から稲土には自然が溢れていることを実感でき今後の楽しみが増えたように感じました。

夕方、食材の買い出しに車で10分くらいのスーパーマーケットに行きましたが、殆んど食材は調達できそうで都会から来た人でも心配はなさそうです。



帰路、昨年からはじめた佐治の畑にてトマト、オクラ、キュウリ、トウモロコシを収穫して帰りました。

入居準備をしている内に薄暮の時間帯となり、神楽小学校の夏まつりに出かけましたが到着してまず驚いたことは子どもの数が圧倒的に多く、お年寄りの数を凌駕しているように感じました。夏休みで帰省しているためかな？とも思いましたが、この子ども達がこのままご当地に残るなら今後ご当地では少子化、過疎化の問題は杞憂にすぎないのではないかと感じた次第です。

夏まつり会場では、多くの屋台が出て、賑やかな雰囲気と色んな催し物があり、楽しく過ごせました。特に印象に残ったのは、少女剣士の葵ちゃんの太刀まわり、目の前で上がる大迫力の花火、「アナと雪の女王」を擬したフィナーレのキャンプファイヤーなど。

皆さんの頑張りに大拍手!

